

教育研究評議会（第18回）議事要旨

日 時 平成26年1月22日（水） 10：31～12：04
場 所 第一會議室

出席者 村松学長、大竹理事、藤井理事、勝山理事、加藤副学長、野口副学長、國分学系長、高田学系長、松川学系長、増田学系長、岸研究科長、伊藤評議員、新藤評議員、赤司評議員、高橋評議員、國仙評議員、山田評議員、繁田評議員、中島評議員、新田評議員、山崎評議員

以上21名

陪席者 荻上監事、堀口監事

I 議 題

1 組織再編について

藤井理事から、配付資料に基づき説明があり、意見交換を行い、以下のとおり確認し、審議の結果、承認した。

- ・組織再編について、文部科学省との折衝に伴い度重なる修正を加えているが、基本理念は変わらずに来ている。この度の「教育支援課程」への名称変更も、交渉がより具体的な内容に移る中で必要となった。今後更なる変更が必要となるかは不透明だが、状況の推移に合わせて適宜相談させていただきたい。
- ・教育支援人材の養成が明確に分かるようなカリキュラムを作成しなければならない。加えて担当教員のやりくりという厳しい課題もあるが、専攻の垣根を越えた協同等の工夫を凝らして対応していただきたい。
- ・5.について、学部定員を35名減らす方針は変わらない。つまり、大学全体の学生定員は15名純減となる。現状この純減はやむを得ないが、組織再編後においても実績を重ねることにより、定員を改めて増やす努力をしていただきたい。
- ・2. 教育支援課程の学士を「学士（教育）」とする。これは教員免許状取得の有無に関わらず、教育支援人材の養成という理念があるためである。
- ・4. の文言について、「多文化多言語プログラム」を「多言語多文化プログラム」に修正する。

2 東京学芸大学名誉教授称号授与規程の一部改正（案）について

3 東京学芸大学名誉教授称号授与規程施行細則の一部改正（案）について

議題2及び3について、藤井理事から、配付資料に基づき説明があり、意見交換を行い、以下のとおり確認し、審議の結果、承認した。

- ・本案は選考委員会の設置及び勤務年数の除算期間を新たに設定するものであり、他の規程や考え方を変更するものではない。
- ・第8条（3）内の文言について、「センター協議会」を「センター長協議会」に修正する。
- ・第8条について、（3）と（4）の釣り合いがとれておらず違和感を感じるという指摘は承知した。今年度については本案どおり選考委員会を設置し、実際に運用する中で問題等が見えてきた場合、再度手直しを検討する手法をとらせていただきたい。
- ・除算期間について、懲戒による停職等の扱いについては本案及び他の条文に定めはない。個別の事例に照らし合わせて選考委員会で判断いただきたい。

4 教員候補者選考委員会の開設について

学長（詳細な説明については藤井理事），総合教育科学系長及び芸術・スポーツ科学系長から，配付資料に基づき説明があり，意見交換を行い，戦略的配置教員の取扱いについて以下のとおり確認し，審議の結果，承認した。

- ・ 戦略的配置教員については任期を付けることも付けないことも可能である。教職大学院に移籍する方も，あくまで戦略的配置教員として移籍するため，教職大学院の教員定員には含めない。従ってその方がお辞めになった際には，同ポストは消滅する。また，同移籍に伴って教職大学院教員の新規採用を減らすことも考えていない。

5 大学院教育学研究科担当者選考委員会の開設について

人文社会科学系長及び自然科学系長から，配付資料に基づき説明があり，審議の結果，承認した。

6 センターの授業開設について

大竹理事から，配付資料に基づき説明があり，審議の結果，承認した。

II 報告事項

1 教員選考結果報告書について

総合教育科学系長，人文社会科学系長及び芸術・スポーツ科学系長から，配付資料に基づき報告があった。

2 大学院教育学研究科担当者選考結果報告書について

自然科学系長から，配付資料に基づき報告があった。

3 特任教員選考結果報告書について

人文社会科学系長及び芸術・スポーツ科学系長から，配付資料に基づき報告があった。

4 平成 27 年度カリキュラム改訂における授業科目出しについて

大竹理事から，配付資料に基づき報告があり，意見交換の交換を行い，以下のとおり確認した。

- ・ 各教室の担当教員数は，削減予定のポストを除いて計算している。対象者も実際に退職されるまでは，所属の教室で授業を分担していただく。従って，その方々が退職されるまでは，教室ごとの授業負担数に少なからぬ差異ができる。
- ・ 組織再編後の教室構成員表の表記に誤りがあるとの指摘については，確認の上対応させていただきたい。
- ・ 議題 1 でも意見交換したとおり，新カリキュラムの担当者出しのやりくりが難しいことは承知している。日程が短く厳しい状況にあるが，各専攻に事情を伺いながら早急に検討したい。教育支援人材の科目出しにもよるが，文部科学省とのやりとりでは，基本的にカリキュラムを大きく変えること無く課程認定を受けられるという感触を得ている。

5 会計検査院による東京学芸大学会計実地検査の実施について

勝山理事から，1月 29 日（水）～31 日（金）までの間，会計検査院による実地検査に入る旨報告及び協力依頼があった。

- 6 寄附金の受入れについて
勝山理事から、配付資料に基づき報告があった。
- 7 研究員の受入決定について
教育研究支援部長から、配付資料に基づき報告があった。
- 8 平成 25 年度第 9 回東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科委員会報告について
岸研究科長から、配付資料に基づき報告があった。
- 9 専門委員会報告
特に無し
- 10 その他
○ 総務課長から、3月 12 日開催予定の教育研究評議会について、学部入学試験の初日と重なるため、翌日 3 月 13 日 10 時 30 分～の開催に変更する旨報告があった。

以上

配付資料

- 資料 1 組織再編について（案）
- 資料 2 東京学芸大学名誉教授称号授与規程の一部改正（案）について
- 資料 3 東京学芸大学名誉教授称号授与規程施行細則の一部改正（案）について
- 資料 4 教員候補者選考委員会開設申請書
- 資料 5 大学院教育学研究科担当者選考委員会の開設について
- 資料 6 センターの授業開設について（案）
- 資料 7 教員選考結果報告書
- 資料 8 大学院教育学研究科担当者選考結果報告書
- 資料 9 特任教員選考結果報告書
- 資料 10-1 平成 27 年度カリキュラム改訂における授業科目出しについて
- 資料 10-2 平成 27 年度カリキュラム全学共通負担枠表（科目出し参考資料）
- 資料 11 寄附金の受入れについて
- 資料 12 研究員の受入決定について（報告）
- 資料 13 平成 25 年度第 9 回東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科委員会議事日程
- 参考 1 教育研究評議会（第 17 回）議事要旨